



# ぐるっとマップ No.140 一本桜を訪ねて **保存版**

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町

今年は春の訪れが早く、ここ大北地域でももう桜が咲き始めました。桜は並木も美しいですが、孤高の一本桜は圧倒的な存在感で見守る者をはっとさせる魅力があります。今回は大貫茂氏著「信濃の一本桜」にも掲載された、大町・北安曇の古樹・名樹を紹介します。



**1. 八方薬師堂の江戸彼岸:**  
樹齢300年(4月下旬~5月初)  
信仰の対象として伐られることなく残された、推定樹齢300年の古木です。薬師堂の脇で勇壮に咲き誇ります。



**3. 青木湖畔の大山桜:**  
樹齢50~60年(4月末~5月初)  
湖の東側の田の畦に、湖にせり出すように立つ一本桜。北アルプスを背に湖面に映る姿が優雅です。



**4. 大黒町追分の彼岸しだれ:**  
樹齢150年(4月末)  
大町市街の北側、白馬・小谷へ向かう千国街道と長野へ向かう善光寺街道との分岐点、追分の大黒天境内にあります。1852年の大黒天建立時に植樹されたと想像されています。



**2. 貞麟寺の彼岸しだれ:** 樹齢300年以上(4月末~5月初)  
貞麟寺が開基されたと言われる1552年に記念として手植えされたと言われています。かつてこのあたりで麻の栽培が盛んだ頃、麻の種まき時期の目安とされたことから、「麻蒔き系桜」とも呼ばれていたそうです。

**5. 高根町曾根田の江戸彼岸:**  
樹齢300年(4月末)  
高根公民館横の広場に立ち、均整のとれた姿が美しいエドヒガン。地元の伝承では、名も知らぬ遊行僧が植えたものだといわれます。



**6. 須沼の田打ち桜:**  
ソメイヨシノ 樹齢50~60年(4月中~下)  
一面の田んぼの一角にあり、農作業を始める目安となる役目を果たしてきた「種まき桜」。夜島槍や爺ヶ岳を背景に独立した姿はいつまでも残しておきたい風景の一つです。



**7. 宮本の江戸彼岸:** 樹齢400年(4月下旬~5月初)  
墓地にある古木で、農作業の始まるを知るために植えられたと思われ。宮本地区には桜の古木がいくつもあり、田園風景と北アルプスの連山を背景に絵のような美しさを誇ります。



▲今年4月6日の様子  
まもなく開花を迎えます。



**8. 成就院の来鳳しだれ:** 樹齢250年(4月末)  
成就院は正式の名を来鳳山成就院というそうで、桜は山号にちなんで来鳳しだれ桜と呼ばれています。享保年間(1700年代前半)に伽藍が建立された記念に、当時の住職が植えたといわれています。

ぐるっとマップのダウンロードを再開しました。  
また、マップで紹介しきれなかった詳細情報も掲載しております。  
ご利用ください。HP <http://www.grutta.net>  
ぐるっと事務局: TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557

※今回のマップは、2012年3月、信濃毎日新聞社発行、大貫茂著「信濃の一本桜」を参考に作成しました。  
※( )内の開花時期は例年の目安です。今年は桜の開花が早まっているのでご注意ください。

※このマップは、2016年4月8日付の大系タイムスに掲載されました。  
※情報は掲載当時のものです。ご注意ください。  
※個人で楽しんでいただくためのものです。二次利用をされる場合にはご相談下さい。